

## 一言メモ

(つくば市役所ホームページ)

### 筑波山梅林:

筑波山梅林は、筑波山中腹の標高約 250 メートル付近に位置する市営の梅林で、筑波山地域ジオパークの見どころの一つとなっています。斜面に広がる 4.5 ヘクタールの園内には、約 1,000 本の白梅・紅梅が植えられており、早咲きものは 1 月下旬に見頃となるものもあります。園内のいたるところには筑波石とよばれる班れい岩の巨石が散在し、梅とのコントラストも素晴らしく、独特の趣があります。



### 筑波山神社:



筑波山神社は筑波山中腹にある、全国屈指の由緒ある神社。筑波男ノ神(いざなぎ)、筑波女ノ神(いざなみ)を祭神とし、縁結び、夫婦和合の神として広く信仰を集めています。また、春秋の御座替祭、8 月のガマ祭でも知られています。徳川家康が江戸城守護の霊山として祈願所を置いて以来、将軍家の信任厚く、国の重要文化財に指定されている吉宗銘の太刀は、将軍家光の寄進によるものです。境内には、日枝神社、春日神社、巖島神社、それに参道の中央に架かる神橋等、徳川三代将軍家光寄進の諸社殿が立ち並び、偉観を放っています。

### 筑波山:登山ルート

- ①**迎場コース**:筑波山神社とつつじヶ丘を結ぶコース。おたつ石コースや白雲橋コースとの組み合わせで、女体山を頂点とした筑波山東側の周遊ルートとして利用されます。石の階段など歩道もよく整備されており、スギやヒノキ、モミの常緑針葉樹林の中で静かに森林浴を楽しみながら歩くことができます。
- ②**おたつ石コース**:つつじヶ丘から、白雲橋コースとの合流点である弁慶茶屋跡を結ぶコース。女体山頂を目指すもっとも一般的な登山道で、つつじヶ丘から女体山頂までの距離は 1.8 キロメートル。つつじヶ丘から比較的急な階段道を 300m ほど登ると、ベンチとあずまやのある「つつじヶ丘高原」に到着します。
- ③**白雲橋コース**:筑波山神社から弁慶茶屋跡の広場を經由し、女体山頂を目指すコースです。弁慶茶屋跡山頂までの間には、弁慶七戻りなど奇岩怪石が多くあり、急な岩場の道が続きますので、上り下りは慎重に行ってください。



弁慶七戻り



北斗岩



大仏岩